

第91回岐阜県中央メーデーへのメッセージ

「ピースハートぎふ」の代表の河合です。日頃より、「ピースハートぎふ」へのご協力・ご支援、ありがとうございます。市民と野党の共闘を実現し、安倍政権を打倒し、平和・自由・くらしを守るために、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。岐阜県中央メーデーは、その決意を改めて固め、より団結していく場であると確信しています。

もっとも、今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、デモ行進及び JR 岐阜駅北口駅前広場での集会は中止し、岐阜県教育会館での実行委員会役員のみでの式典とのこと。多くの労働者の団結の場が用意できないことは、とても残念です。しかし、現在の状況からして、感染拡大を防止するためには止むを得ない措置ですし、断腸の思いでの決断であったと推察します。「ピースハートぎふ」自体も同様であり、今は一刻も早くコロナ禍が収束することを願っています。

それにしても、安倍政権の新型コロナウイルスへの対応のまずさは、まさに“安倍政治という人災”ともいえるものです。たとえば、クルーズ船への対応、PCR検査の体制、学校の全国一斉休校、条件付き30万円給付の提案、そして補償なき外出自粛・休業要請等々失策を重ねています。その上、この混乱に乗じて、「緊急事態条項」新設の改憲を公言しているのです。

今必要なのは、国民の命を守る政治です。医療現場への財政支援であり、労働者・フリーランスなどへの収入補償です。5兆3千億円もの軍事費を削って「命を守る」政治を行うことです。

しかし、これは、うそ、疑惑、隠蔽、改ざん、国政私物化の安倍政治にはできません。私たちは今こそ「命を守る」政治をつくるために、より広範な市民や野党と力を合わせ運動を進めなければなりません。新型コロナウイルス禍の下では、なかなか思うような運動ができませんが、必ずや収束します。その時のために、多くを力いっぱい準備しましょう。

皆さんが、新型コロナウイルス禍に負けず、今後大いなる成果を獲得されるよう、心から祈念します。

2020年5月1日

「ピースハートぎふ」代表 河合良房

第 91 回メーデーへのメッセージ

2020 年第 91 回岐阜県中央メーデーの開催にあたり、心から連帯のメッセージをお送りいたします。

コロナウイルス感染症の拡大のなかでも多くの働く方々によって、医療、介護、保育、学童保育、障がい者福祉、公務、物流、製造、ライフラインなど支えていただいています。心から敬意と感謝を申し上げます。

医療関係者や中小・小規模事業者、イベント関係者をはじめ、様々な方々から悲鳴の声があがっています。今、国がするべきは、コロナの影響から医療崩壊を食い止め、暮らしと営業を守り抜くために十分な予算措置をとることです。

しかし、安倍政権の姿勢は現場の実態に全く噛み合っていません。

自粛・休業・ホームステイを要請するだけではなく、補償をセットにして国民・住民の皆様が安心して休める対策を実施すること、困っているところに、一刻も早く支援が届くようスピードアップをはかることが求められています。

今、あのリーマンショックの時の非正規切りを繰り返してはならないと国会論戦しています。

日本アクリル化学名古屋工場閉鎖問題を質問で取り上げ、経済産業大臣は「雇用をしっかりと守っていくことを、企業の責任であるということ強く申し上げてまいりたい」と答弁しました。また、大企業の内部留保の活用、トヨタ自動車の下請けいじめ、製造原価カットやめさせよ！の質問に経済産業大臣は「自動車メーカーに対して、下請中小企業に対する取引上の配慮を要請。しわ寄せをしないでくれとはっきり申し上げております」と答弁しました。

観光地も多い岐阜県の事例もあげながら、ホテル・旅館などの窮状について支援を求める質問をし、固定資産税の減免を実現できました。引き続き、雇用と暮らし・営業を守るために全力をあげてまいります。

加えて、新型コロナウイルス感染症に乗じての壊憲を許さないためにも力を尽くしてまいります。

みんなの声で1人10万円の特別定額給付金を実現させることができたことなどを確信に引き続き力を合わせていきましょう。

とにかく皆様のご健康とまた笑顔でお会いできることを心から願っております。

日本共産党

衆議院議員 本村伸子

《2020年メーデー・メッセージ》

第91回岐阜県中央メーデーにご参加のみなさんに、心からのメッセージを送ります。

今年のメーデーは、新型コロナウイルス感染拡大の中で迎えています。私たちは今年のメーデーを、新型コロナウイルスから、国民のいのちと健康を守り、雇用と営業を守るメーデーとして、成功させなければなりません。

感染拡大と医療崩壊を食い止めるために、外出自粛・休業要請と一体の補償、検査体制の強化、医療現場への本格的な財政支援を、強く求めていきましょう。

1人10万円の給付にとどまらない継続的な補償が必要です。諸外国で行われているように、休業を余儀なくされたすべての労働者、個人事業主、フリーランスなどの賃金・収入の8割を補償させましょう。事業者に対して、家賃など固定費の全額を補償し、税・社会保険料の減免、消費税の延納などを求めましょう。

日本社会が抱える矛盾が吹き出しています。貧困・格差を是正し、8時間働けば普通に暮らせる社会、ジェンダー平等の社会、憲法9条を守り平和な社会の実現をめざして、ともにたたかきましょう。

今年は、メーデーが始まって100周年。メーデーが、働くものの生活向上と権利擁護、平和と民主主義を守り発展させる上で大きな役割を果たしてきた、その歴史的意義を深くつかみ、みなさんとともに新しい社会を切り開けるよう、全力を尽くす決意を申し上げ、連帯のあいさつといたします。

第91回メーデー、万歳！！

日本共産党参議院議員

武田良介

2020 メーデーメッセージ

2020 年第 91 回岐阜県中央メーデーにご参加のみなさんへ。

この間のコロナウィルス感染拡大のなかで、「自粛と補償は一体で」の立場で、外出自粛・休業要請との一体の補償を求め、医療崩壊を絶対阻止するために検査体制強化と医療現場への本格的財政支援を求めてきました。

みなさんの声を受けとめ、野党共同で政府に迫るなか、すべての住民への 10 万円給付金や中小企業への雇用調整助成金の助成率 10 割引き上げなどを実現してきました。しかし、政府の対応も補正予算もあまりにも不十分であり、雇用や収入を絶たれて生活困窮に陥る労働者をはじめ、現実には迫られている問題にこたえきれていません。

感染防止と医療崩壊を止め、働くみなさんの暮らしと権利、営業を守りぬくために力を合わせましょう。

米軍製兵器の爆買いや辺野古の米軍新基地建設などを中止し、コロナ対策に集中させましょう。

コロナ危機は、新自由主義のもとでの儲け第一主義による社会保障・医療の切り捨てや格差の拡大が何をもたらすかを浮き彫りにしています。安倍政権を終わりにし、この政治を抜本的に転換するために職場からのたたかいを広げ、市民と野党の共同をご一緒に進めましょう。

2020 メーデー万歳！

日本共産党参議院議員 井上哲士

岐阜県労働組合総連合 殿

第九十一回岐阜県中央メーデーのご盛会

を心よりお祝い申し上げます。

すべての働く者の人間らしい労働と生活

の実現に向けて、労働組合が社会的役割を

発揮することが重要です。希望に輝く未来

のために、ともに頑張りましょう。

貴団体の益々のご奮闘とご発展を心より

祈念申し上げます。

東海労働金庫岐阜支店

支店長 中村 隆之

